令和４年度シラバス（国語）　　学番２６　新潟県立新発田商業高等学校

教科(科目)	国語（現代文Ｂ）	単位数	２	学年(コース)	２学年（商業科・情報処理科）
使用教科書	「精選現代文Ｂ」（東京書籍）				
副 教 材 等	「新国語便覧」第一学習社　「高校漢字必携」第一学習社　「国語必携パーフェクト演習」尚文出版				

１　学習目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、人生を豊かにする態度を育てる。

２　指導の重点

「小説」「評論」などのジャンルをバランスよく、体系的に学習し、「言語知識」「読解力」「表現力」などを身に付け、総合的な国語の活用能力の向上を目指す。

３　学習計画

月	単元名	教材	主要学習領域	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4 5	評論	「ミロのビーナス」	①③④⑤	・評論文の基本的な読み方を学ぶ。 ・パラドックスについて理解を深める。	8	・中間考査 ・提出物
6 7	小説	「山月記」	①②④⑤	・漢文調のリズムを味わう。 ・描写から登場人物の人物像や心情の変化を読み取る。	１５	・期末考査 ・提出物
8 9	評論	「日本人の美意識」	①③④⑤	・論理的な文章に慣れる。 ・「日本人の感性」のルーツについて考察する。	１２	・中間考査 ・提出物
10 11	小説	「こころ」	①②④⑤	・明治の文豪の作品を読み味わう。 ・登場人物の言動、心情を表現に即して読み取る。	１４	・期末考査 ・提出物
	評論	「おじいさんのランプ」」	①③④⑤	・叙述の仕方に注意して論の展開の特徴をつかみ、筆者の考えを理解する。 ・情報文化社会を題材とする評論文を読み、現代社会への考察を深める。	8	
12 1 2	小説	「旅する本」	①②④⑤	・現代作家のファンタジーに類する作品を読み、テーマを考える。	5	・学年末考査 ・提出物
	表現	作　文	①③④⑤	・文章に書き慣れる。 ・高校生活を振り返る。	5	
3	表現	本の紹介	①②③	・自分の愛読書の中から、お薦めの作品を選び、紹介文を書く。 ・自己の紹介文を発表し、相互評価する。	3	・紹介文の内容 ・発表のしかた ・聞く態度

計７０時間（50分授業）

4　課題・提出物等

・授業で使用したプリントやワークシート　・休業中の課題　・作品　・朝学習

5　評価規準と評価方法

観点	①関心・意欲・態度	②話す・聞く能力	③書く能力	④読む能力	⑤知識・理解
評価規準	・進んで自分の意見や考えを表現し、伝え合おうとしている。 ・言葉遣いや文体などの表現を、場や目的に応じて工夫しようとしている。 ・分からないことや興味のあることについて、積極的に調べようとしている。	・様々な問題に対して自分の考えを持ち、筋道を立てて意見を述べている。 ・場や目的に応じて、教師の指示や友人の意見を的確に聞き取っている。 ・課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重して話し合っている。	・相手や目的に応じて題材を選び、効果的な表現を考えて書いている。 ・論理的な構成を工夫して、自分の考えを文章にまとめている。 ・優れた表現に接してその条件を考え、自分の表現に役立てている。	・文章の内容を叙述に即して的確に読みとったり、必要に応じて要約したりすることが出来ている。 ・文章を読んで、構成を確かめたり表現の特色をと捉えたりすることが出来ている。 ・文章に書かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	・表現と読解に役立てるための文法、表記、語彙等を理解し、身につけている。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになっている。
評価方法	・学習活動への参加姿勢や態度 ・授業の予習 ・提出された課題	・学習活動への参加姿勢や態度 ・発表、報告などの姿勢や態度 ・授業での発言 ・提出された課題	・学習活動への参加姿勢や態度 ・提出された課題 ・定期考査	・提出された課題 ・定期考査	・提出された課題 ・定期考査

6　担当者からの一言

「現代文」の授業でさまざまな文章を読むことを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深め発展させられるようになりましょう。また、語句の意味・用法を的確に理解し、語彙を豊かにすることや、文体や修辞などの表現上の特色にも注意しながら文章を読むことを心がけてください。

学んだことを定着させるためには復習が大事です。教科書や授業ノートを確かめながら学習内容を整理するよう努めてください。

令和４年度シラバス（国語）　　学番２６　新潟県立新発田商業高等学校

教科(科目)	国語（現代文Ｂ）	単位数	３	学年(コース)	３学年（商業科・情報処理科）
使用教科書	東京書籍『精選現代文Ｂ」』				
副 教 材 等	第一学習社『新国語便覧』　第一学習社『高校漢字必携』　尚文出版『国語必携パーフェクト演習』				

１　学習目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、人生を豊かにする態度を育てる。

２　指導の重点

「小説」「評論」「韻文」などのジャンルをバランスよく、体系的に学習し、「言語知識」「読解力」「表現力」などを身に付け、総合的な国語の活用能力の向上を目指す。

３　学習計画

月	単元名	教材	主要学習領域	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4 5	評論	「文学の未来」 【中間考査】	①③④⑤	・評論文の基本的な読み方を学ぶ。 ・文学の意義について理解を深める。	１６ ２	・中間考査 ・期末考査 ・学年末考査 ・提出物（ノート・ワーク・プリント・ワークシート・作文・朝学習） ・授業中の発言・態度
5 6	小説	「スペインタイルの家」 【期末考査】	①③④⑤	・描写から登場人物の人物像や心情の変化を読み取る。	１６ ２	
7 8 9 10	評論	「鏡の中の現代社会」 【中間考査】	①③④⑤	・評論文の基本的な読み方を学ぶ。 ・時間についての考え方の相違を読み取り、様々な考え方に触れる。	１６ ２	
10 11	随想	「クレールという女」 【期末考査】	①③④⑤	・随想を読み、そこに描かれた内容を表現に即して捉える。 ・文章を書く。 ・自己の生き方について考える。	１５ ２	
12 1 2	評論 小説	「平気一正岡子規」 「舞姫」 【学年末考査】	①③④⑤ ①③④⑤	・叙述の仕方に注意して論の展開の特徴をつかみ、筆者の考えを理解する。 ・俳句とその解釈によって導きだされる人物像を捉える。 ・日本の近代を代表する小説家、森鷗外の作品を読み味わう。 ・時代背景に注意しながら、主人公の心の葛藤を読み取り、人間の生き方について考える。	１５ １７ ２	

計 105 時間(50 分授業)

4　課題・提出物等

・授業で使用したプリントやワークシート　・休業中の課題　・作品　・朝学習

5　評価規準と評価方法

観点	①関心・意欲・態度	②話す・聞く能力	③書く能力	④読む能力	⑤知識・理解
評価規準	・進んで自分の意見や考えを表現し、伝え合おうとしている。 ・言葉遣いや文体などの表現を、場や目的に応じて工夫しようとしている。 ・分からないことや興味のあることについて、積極的に調べようとしている。	・様々な問題に対して自分の考えを持ち、筋道を立てて意見を述べている。 ・場や目的に応じて、教師の指示や友人の意見を的確に聞き取っている。 ・課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重して話し合っている。	・相手や目的に応じて題材を選び、効果的な表現を考えて書いている。 ・論理的な構成を工夫して、自分の考えを文章にまとめている。 ・優れた表現に接してその条件を考え、自分の表現に役立てている。	・文章の内容を叙述に即して的確に読みとったり、必要に応じて要約したりすることが出来ている。 ・文章を読んで、構成を確かめたり表現の特色をと捉えたりすることが出来ている。 ・文章に書かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	・表現と読解に役立てるための文法、表記、語彙等を理解し、身につけている。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになっている。
評価方法	・学習活動への参加姿勢や態度 ・授業の予習 ・提出された課題	・学習活動への参加姿勢や態度 ・発表、報告などの姿勢や態度 ・授業での発言 ・提出された課題	・学習活動への参加姿勢や態度 ・提出された課題 ・定期考査	・提出された課題 ・定期考査	・提出された課題 ・定期考査

6　担当者からの一言

「現代文」の授業でさまざまな文章を読むことを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深め発展させられるようになりましょう。また、語句の意味・用法を的確に理解し、語彙を豊かにすることや、文体や修辞などの表現上の特色にも注意しながら文章を読むことを心がけてください。

学んだことを定着させるためには復習が大事です。教科書や授業ノートを確かめながら学習内容を整理するよう努めてください。

（担当　大倉桂子）

教科(科目)	国語（国語表現）	単位数	2	学年（コース）	３学年（商業科・情報処理科）
使用教科書	教育出版　『国語表現　改訂版』				
副 教 材 等	京都書房　『基礎からの国語表現の実践』　　国語辞典				

１　学習目標

国語で適切にかつ効果的に表現する能力を養い、伝えあう力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を養う。

２　指導の重点

「書くこと」「話すこと・聞くこと」をバランスよく体系的に学習し、基礎学力を身につけ主体的な表現活動の向上を目指す。

３　学習計画

月	単元名	教材	主要学習領域	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4	文章表現の基礎	・表記の仕方 ・語句の用法と文のくぎり方 ・推敲 ・わかりやすい説明の方法	①②③④	文章表現の基礎を学ぶ。 推敲の方法を学ぶ。 わかりやすく説明するための話し方の順番を学ぶ。	6	授業時の提出物 小テスト 授業への参加姿勢や態度 中間考査 期末考査
5 6	小論文Ⅰ	・論理的に述べる ・セルフディベート ・構成ノート	①③④	小論文やレポートの書き方の基本を学び、実際に書いてみる。マッピングメモを作成し、自分の考えを整理する。 思考を鍛え説得力のある論理的な文章を書く技術を身につける。	１３	
7	声の表現	・声を出そう ・文字を声に変える ・スピーチをする	①②④	呼吸法と姿勢、発声・発音など声を出すための基本とわかりやすい話し方を学ぶ。 スピーチのポイントを学び練習する。	8	
9 10	言葉遊びと創作 小論文Ⅱ	・言葉遊び ・川柳を作る ・二次創作 ・要約の方法 ・課題型小論文 ・データ型小論文	①③④ ①③④	言葉の魅力を楽しみながら体験する。 言葉に工夫を加える。川柳や二次創作、広告コピーを作ってみる。 文章やデータを読み取った上で自分の意見をまとめる。	7 8	授業時の提出物 小テスト 授業への参加姿勢や態度 期末考査

11 12	話し合いの方法	・会話の目的と機能 ・意思決定、合意形成のための会議 ・スピーチ	①②④	書き言葉を話し言葉にする。話し合いや会議、そして発表のそれぞれの目的にあった形態を選ぶことを学ぶ。会話の機能を分析する。スピーチをする。	１４	
1	エッセイを書く 物語を作る	・エッセイを書く ・作品集作りと相互批評 ・二次創作を楽しむ ・絵から物語を作る	①③④	読者をひきつけるエッセイをの書き方を学び、実際に書く。作品を相互批評する。 物語創作を楽しむ。	１４	授業時の提出物 小テスト 学年末考査 授業への参加姿勢や態度

計　　70 時間（50 分授業）

4　課題・提出物等

・授業で使用したプリントやワークシート
・授業で制作した作品

5　評価規準と評価方法

観点	①関心・意欲・態度	②話す・聞く能力	③書く能力	④知識・理解
評価規準	・国語に対する関心を深め､国語を尊重してその向上を図り､進んで表現するとともに､伝えあおうとしている。	・自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取っている。	・自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章に書いている。	・表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、身に付けている。
評価方法	・学習活動への参加姿勢や態度 ・授業の予習 ・提出された課題	・学習活動への参加姿勢や態度 ・発表、報告などの姿勢や態度 ・授業での発言 ・提出された課題	・学習活動への参加姿勢や態度 ・提出された課題	・小テスト ・提出された課題

6　担当者からの一言

「書くこと」「話すこと・聞くこと」の基礎をしっかりと学び、日常の言葉遣いや語彙に関して興味・関心を持つだけでなく、社会人として通用する表現の仕方を身に付け、生涯にわたって活用することのできる表現力を養ってください。

受け身ではなく主体的に学ぶ姿勢を持って授業に参加し、日常生活の中でも積極的に言葉を大切にする姿勢を持つことを期待します。　（担当　大倉桂子）